

野遊び推進事業（野遊びSDGs基本構想）市民向け説明会 会議録

会議名	野遊び推進事業（野遊びSDGs基本構想）市民向け説明会
開催日時	令和4年5月29日（日）13：30～15：00
開催場所	北勢市民会館 視聴覚室
出席者	<p>【参加者】16名</p> <p>【説明者】</p> <p>いなべ市農林商工部商工観光課、一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ、株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング</p>
事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農林商工部商工観光課長あいさつ</li> <li>2. 野遊び推進事業の実施経緯及び方向性について 説明者：商工観光課</li> <li>3. グリーンクリエイティブいなべの理念による地方創生の取り組みについて 説明者：一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ</li> <li>4. 野遊びSDGs拠点の整備について 説明者：株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング</li> <li>5. 質疑応答</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
議事概要	<p>1～4は、アーカイブにて公表。</p> <p>5. 質疑応答</p> <p>【参加者】</p> <p>施設整備には多額の市民の税金が使われますが、現状、この事業が市民へどう還元されるかが見えてきません。この事業に対して、いなべ市がどう市民還元について考えているかが分かりません。ライフラインに関する事業であれば、市民が関心ある関心ないに関係なく還元されるものであるが、今回の説明会においても40名定員で16名しか参加がなく、大人から子供を対象とした事業と言っていますが、限られた層の方しか来ていない状況を踏まえた上で、市民はこの事業にメリットを感じていないと思います。また先ほどの説明でいなべの資源を使ってという話でしたが、具体的なものが見えてこないと思います。受け手としては、名のあるスノーピークが来て、人を呼び込むというだけにしか見えないので、市民還元についてどう考えているかを教えてほしいです。</p> <p>【いなべ市】</p> <p>現在いなべ市の人口は約45,000人であるが、2040年の将来推計人口は、40,000人を大きく割ってくると推計されています。</p>

その減少率から考えると税収減により良い行政サービスどころか現状のサービスを保つことはできません。そのため、行政サービスを担保していくためには、ライフライン等の生活に直結する事業だけでなく、将来を見越し、この野遊び推進事業だけでなく地方創生の取り組みを行っています。

今回実施する事業もその施策の一つであり、全国的に人口が減っていく中ではありますが、定住、観光人口、関係人口、移住対策を行い、人口維持、税収確保というところから、将来の市民の皆様への行政サービスを担保していくものです。

#### 【参加者】

今回整備する施設を税金で建てるのは、よろしくないと思います。例えば桑名市ですと温泉を民間が建てて、市の負担は一切ありません。あるいはキャンプ場についても美杉村の方で、ある人が市の負担なく山林等で自分のキャンプ場を作っています。スノーピークが整備に関する費用を全て負担し、運営していくべきと思います。

それと三重県も一緒ですが人口が減少していく中で、外からの人を呼ぶということに力を入れているが、それより今いる市民を出ていかないようにするという施策に力を入れた方がよいと思います。いなべ市は住みやすいと思ってもらえるような施策、例えば子育てしやすい、図書館が立派できれいとか、給食費が無料だとか色んな面で住民が住みやすいと思える事業を行い、定住対策をするべきだと思います。よそから人を求めるのは一時的なもの、ましてやこの整備する施設はほとんど市民のためのものではないと思います。やはり市民がメインで利用する施設に税金を使ってほしいと思います。

それとにぎわいの森について、世間では最初から失敗と言われていています。不祥事を起こして店を閉めている店舗があり、また地元の店舗を使っていません。ある人は災の森とも言っている。店の閉まる時間が夕方 5 時までの営業時間にも関わらず、冬の時期にイルミネーションをやったりしているが、それでは人が来ないのではないかと思います。根本的にもっと深く考え、企画立案してほしいと思います。また維持費についても市が負担している部分が多いので、そういう面についても考えてほしいです。

#### 【一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ】

今回の場合は、本当にみなさんとまちづくりについて考えていく良い機会だと思っています。先ほどいなべ市から人口が減るといった話が出ましたが、人が減っていくと結局今まで行政がやってきたこともできなくなるという選択を迫られることになると思います。その時に行政とまちの人がちゃんと接点を持ってというか情報公開をしていく場を作っていないと、取り返しのつかないことになります。去年から一般社団法人グリーンクリエイティブいなべでは妄想会議という市民の意見を聞く場を設けています。こういう場については、引き続き設けていこうと思っていますので、今回だけでなく引き続き、いろいろご意見いただければと思います。

今まで行政に任せていた部分をみんなで共に考え、動かしていくという仕組みづくりが大事で、野遊び SDG s 拠点施設ができたり、宇賀溪キャンプ場の話であったり、SDGs が国からもそうですけど見た目が良いから、筋書きがいいからという部分はいいからという部分は確かにあります。今後はそこに市民の方の意見をもっと入れていかなければい

けないと思っており、一般社団法人グリーンクリエイティブいなべとしてもモットーにしているところでもありますので、行政に直接言いにくいところなどあれば、弊社に一度ご相談いただければと思っています。

【いなべ市】

施設運営、機能について、最初の説明でお伝えしきれなかった部分もありますが、今回整備する施設はあくまで観光という用途だけでなく、前の配置図にもありますとおり、野遊び広場や体験エリアで想定される体験等の提供としては地域の事業者の方などを想定しています。現状で約13事業者の方と一緒にこの事業でどういう事ができるかなど検討しております。また受ける側も観光客だけでなく市民の方々もちろん対象であり、市民の方にも向けた施設であることをご認識いただければと思います。

【参加者】

配置図には、野遊び広場は市民の人も遊べる場所、その横にキャンプサイトがあります。キャンプサイトに来られた方の中にはお酒を飲まれる方もいると思います。野遊び広場で遊んでいる人とお酒飲んでいる人がトラブルになったりすることはないのでしょうか。

【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

他の施設でスノーピークの直営、直営じゃない関係なく、お酒を飲まれた方のトラブルはあります。基本的には、注意喚起を促すことと、導線をしっかりと整理することで、対応するしかないと思っております。大事なポイントとしては、この施設の特徴でもあります。普段使いをする方と特別な非日常を味わいにくる方と併存する施設ということで、これからオペレーションを決めていくところではありますが、導線や時間帯での区分で利用者を分け、対応していこうと思っています。野遊び広場や拠点棟の体験エリアについては、交流するという良さを活かしていきながら、普段使いする方と非日常を楽しまれにきた方は空間的に分けていく必要はあると思います。

【参加者】

野遊び広場にはキャンプに来られた方も入れますか。

【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

キャンプに来られた方も広場には入れますが、ある種マナーの悪い方や常軌を逸した方などがいれば個別で対応していくものになります。

【参加者】

キャンプサイトは、95サイトくらい張れるくらいの広さでしょうか。

【いなべ市】

この令和4年3月に完成した基本構想の中間版が令和3年5月に策定されています。

その時では 95 サイトを想定しておりましたが、今回の基本構想の完成に至る中で、より市民への還元や交流という要素が強い施設機能を持たすということで、サイト数も減少してきております。

**【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】**

前にある配置図にあるキャンプサイトエリアと調整中と書いてあるエリアで仮試算になりますが、マックスで 50～60 サイトになる予定です。またキャンプサイトと書いてある部分については、いわゆるスノーピーク仕様の少し広めにとったサイトの広さで行くと 20～30 サイトくらいになります。

**【参加者】**

イニシャルについては市が負担であり、ある種スノーピークとしては、リスクがないと思います。何年運営するとかは決まってないのでしょうか。

**【いなべ市】**

運営に関しては、まだ決まっていません。ただこの基本構想の策定の委託先は株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングであり、この施設整備等について包括協定も締結しているというところで、本日も説明会に来ていただいておりますが、実際にスノーピークが運営するということは決まっていない段階であります。

**【参加者】**

阿下喜温泉は、温泉道場さんが運営されるということで、指定管理料もなく、20 年賃貸するというところで聞いていますが、こっちに関しては、指定管理料も梅林があるので、いるかいないかも分からないという状態で議会を通ったと思います。そこは、はっきりしないのでしょうか。

**【いなべ市】**

現状、一般社団法人サンパークが指定管理を受け、運営していますが、いなべ市農業公園のエコ福祉広場と梅林公園 2 施設合わせて、指定管理料が約 4,500 万円発生してきているところです。その按分で仮に 2,000 万円、2,500 万円を考え、梅林公園に 2,500 万円かかってきたとして、梅林公園は阿下喜温泉のように建物だけでなく、広大な実梅のエリアもございます。その維持管理も含めてスノーピークが運営するとなるとなんとも言えないところがありますが、今回整備する施設に関しては、基本的には指定管理料が発生してこない形で進めています。

**【参加者】**

梅林公園での施設整備で、藤原町の山間のところに整備することになりますが、付近の市町には北勢中央公園や県民の森などがある。本当に市民も含め来るのか。

**【いなべ市】**

基本構想策定の段階で総研会社に委託し、客観的な需要調査をしていただいております。費用対効果的な部分も含め、需要見込みがあるということで、事業を進めています。

**【参加者】**

当初この事業は、ドロマイト鉱山跡地で行う計画が梅林公園に移ったと思うのですが、まだドロマイト鉱山跡地の利用の話は残っていますよね。

**【いなべ市】**

この野遊び推進事業は、施設を整備するハード事業だけではなく、先ほど一般社団法人グリーンクリエイティブいなべからも説明が合ったように地域回遊などのソフト事業も行っており、ドロマイト鉱山跡地は、市内を見渡せる景観などの魅力ある場所の一つでありますので、回遊のポイントの一つとして残っています。

**【参加者】**

スノーピークは、47都道府県にキャンプ場を作ることを目指していますよね。

**【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】**

スノーピークがキャンプ場のパートナーを募集しております。それが今回いなべ市様でさせていただく、the 地方創生というものを指すものもあれば、いわゆる純粋なキャンプ場を目指すものも含め、47都道府県で展開していくことを目標としています。

**【参加者】**

スノーピークのキャンパーさんがスノーピークの施設を回るというイメージと思うのですが、そこまで人が利用しますか。例えば、琵琶湖のほとりに作ったとして、ここからでも1時間くらいでいけるので、どっちに行くというと私なら、琵琶湖の方に行きます。ここにきてもらえるまで魅力的なものにできるのでしょうか。

**【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】**

一般的にキャンプ場と言ってもいろいろなものがありますが、商圏的なもので言えば、おっしゃられるように限定的だと思います。一方で先日新潟県の本社でオープンした弊社の施設で温浴施設やレストランのある施設になるのですが、そこに来られたお客様のお話を聞きますと、実は白馬でも同じ施設があるのですが、白馬に電車で2~3時間かけて行き、空間も含め、あの時間が忘れられないということで、こちらの方にも来られたということでした。通常のキャンプ場であれば県を超えてということは難しいと思うのですが、この整備する施設のような体験価値や人と人との交流を高付加価値として付与されている部分では商圏というものが広がってくると思っています。

**【参加者】**

スノーピーク、ノルディスクという2つのアウトドアメーカーがいなべ市と事業をや

られるとのことで、個人的にはスタイルとして市がそういう方向に向かっていくことは良いと思うのですが、スノーピークとノルディスクは似て非なるもので、どういう棲み分けをして声をかけられたのでしょうか。

あとドロマイト鉱山跡地については、青川峡キャンプパークと宇賀溪キャンプ場の間に位置します。当初、並列した場所に位置したところに同じ種の施設が来るということが、どうしてなのか教えていただきたい。

【いなべ市】

先ほどおっしゃられた用にスノーピークとノルディスクは同じアウトドアメーカーではありますが、似て非なるものともちらも思っていますので、その施設ごとに各事業者の世界観を出し、様々な角度から施設やいなべの魅力を表現した施策を展開し、なおかつ宇賀溪キャンプ場であれば施設整備の要望が自治会からもあったことや、梅林公園についても梅以外の時期の更なる利用というところで、事業者の方とそれぞれの世界観で棲み分けし、施設ごとに抱える想いをより良くしていければと思っています。

【参加者】

大きな施設が2つもできて、いなべ市で運営等の対応をしていくことが可能なのでしょうか。スノーピークは、ノルディスクが先にいなべ市で事業を展開していることを知っていたと思うのですが、その中でいなべ市から声がかかった時にどう思われましたか。

【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

ノルディスクさんがつくるラグジュアリー空間とは棲み分けをしっかりとしていく中で、計画していくべきと考えました。

【参加者】

私の考え方にはなりますが、今回する整備する施設は道の駅だと思います。道の駅は全国たくさんあり、そこにスノーピークというブランドがついたというイメージです。

その2社（スノーピーク、ノルディスク）にお金を払い便乗させてもらっているだけなのではないでしょうか。いなべ市は、チェーン店も少なく、小規模事業者が頑張っていると思うのですが、そのまちのスタイルに大きなブランドが来るのがいなべ市のスタイルから乖離しているのではないかとも思います。

【いなべ市】

おっしゃられるようにいなべ市は小規模事業者の方が中心となり、伝統古来の文化を大事にしてきたまちだと思います。今回のスノーピークと連携して行う事業も基本的にはその昔からある文化などの大事にされてきているものに対しての需要を高めていくというものになります。

【参加者】

であれば、にぎわいの森と今回整備する施設のコンセプトは同じでしょうか。

### 【いなべ市】

コンセプトは同じです。このスノーピークと連携して行う事業もグリーンクリエイティブいなべの推進の一つになります。にぎわいの森から山辺にこの流れを作っていく一つの手段であります。このグリーンクリエイティブいなべのコンセプトを基軸としているということは、ノルディスクと連携して行う宇賀溪キャンプ場の事業も同じであり、市としては、ノルディスクやスノーピークのブランドを高めようとは思っておらず、このブランドで起こる市への需要を地域の事業者や市への需要につなげていくかということとを現在、一般社団法人グリーンクリエイティブいなべが中心となり、地域の事業者と定期的なミーティングを行い、考えていっているところになります。

### 【一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ】

体験とかをノルディスク、スノーピークを目的に来た方をどうつなげていくか。ただ施設来て、そのまま帰られては意味のない話になりますので、そこは2社ともですが、地域への意識は強く、最終的にはここにしかないものをどう提供していくかということ意識されています。僕らはグリーンクリエイティブいなべの理念に基づき、人にフォーカスして紹介冊子等を作ったりしていますが、すごく魅力的な方は地域にたくさんいます。この人達とコミュニケーションを取ることが一番のブランドだと思います。なので、ご提案している中で施設に来たお客様と弊社が用意したコンテンツをマッチングして地域のお店をどう回っていただくか徐々に仕組みを組み立てているので、逆に市民の方とは一緒に何かできないかと思っています。

### 【参加者】

行政の方からスノーピークやノルディスクの名前を利用するというような形でおっしゃられましたけど、そのぐらいの気概で行政が考えているとのことで、その言葉が聞けて一つ安心しました。

### 【一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ】

仮にノルディスク、スノーピークがいなくなったとしても、一般社団法人グリーンクリエイティブいなべとしてやらなければならないことは一緒だと思います。来ていただいた方にどういなべを伝えていくか、それが回り回って、そこで暮らすことが成り立つことだと思っていますし、自分自身がいろんな事業者の方と向き合い、お付き合いして感じていることは、すごいいなべがいいと思っていなべに来てくれています。そういう姿を見て、地元で育った人もいなべで何か自分でできると思っていたいたり、また地元に住む子供たちもここで暮らしていきたいという流れができると思っています。今回のこの事業をきっかけに僕らがどう取り込んでいくか結果を出していけるのかすごく大事だと思っています。

### 【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

弊社はいろんな拠点、施設をさせていただく中で決して金太郎飴的な感じでどこでも同じことをやるというつもりは毛頭ありません。このいなべでお手伝いさせていただく

上でも先ほど名前の上がった事業者の方のところにも足を運ばさせていただいており、その方々が主役となっていくのは前提です。確かに側だけ見れば、ここまでの高規格の道の駅は私は存じ上げませんが、まさにそういう風に映る部分もあると思います。ただ大事なのは、訪れた方とここで暮らす方が化学反応を起こすことやこの施設に留まらず、事業者の方のところを訪れていくようなソフト事業の仕掛けも弊社として並行して尽力していければと思っていますので、まさに利用していただければと思っています。

#### 【参加者】

なぜ農業公園梅林公園になったのでしょうか。ドロマイト鉱山跡地でも展開できたのではないのでしょうか。それと梅林公園の配置図の中にキャンプサイトがありますが、ディキャンプでもいいのではないのでしょうか。ここが道の駅的な機能で青川峡キャンピングパークなどで泊まるということもできるのではないのでしょうか。

#### 【いなべ市】

まず一つ目の質問の回答としまして、この基本構想を策定する段階で、いろいろ市内施設 6 施設ほど見る中で、最終候補として、農業公園とドロマイト鉱山跡地にあがりました。その 2 候補あがった時は、ドロマイト鉱山跡地の方が候補地としては可能性が高かったです。そのため、まず初めにドロマイト鉱山跡地での運営等の展開をイメージしていくため、現地調査や地質調査を行いました。その調査の中で、ドロマイト鉱山跡地の現場までに行く道や現場などで造成等の安全に利用できるようにする整備費用だけで、この事業の予算を使ってしまうくらいの額になるということが分かり、また不定期に立ってられないほどの強風が吹き、常設的な運営が難しいというところで、ドロマイト鉱山跡地が整備の候補地から外れたという経緯です。

#### 【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

2 つ目の質問の回答させていただきます。今回何のために外から人を呼ぶのか、何のために税金を投入するのかということにもなるのですが、それで言うとそこでしっかりとお金を落とす、いなべ市の魅力を味わってもらおうということで、ラグジュアリーな体験を仕切っていただくことが大事だと思います。例えば日帰りでピクニックに来られた方がその延長で地元の体験やお店に行っていただくということが、時間的なところと導線的なところで恐らく宿泊体験を設けないとそこまで回りきっていただけないと思います。

ただおっしゃる通り、全部が全部宿泊のテントサイトでなくともディキャンプエリアとしても良いと思っています。

#### 【参加者】

にぎわいの森にしても梅林公園にしても、いなべにはしょぼい観光地しかないと思います。例えば富士山とか、そういうのがここにあれば絶対こういう事業が成功すると思うのですが、自然が良いと言っても太平洋セメントが山を削ってしまって、自然が破壊されて、みんなあればいいというのが理解できません。



アクアイグニスには奥に温泉があって、ロープウェイがあってということで四季折々の観光の楽しみがあり、お客さんが来ています。その流れの中で多気町にビゾンという施設を建設し、その整備費用についてもほとんど民間持ちで成功しています。成功させようと思ったら、民間が出資して、頑張らないと、にぎわいの森のようになってしまいます。あれも店舗が出資して、やっていけば必死に経営し、17時に閉めるようなことはないと思います。梅林公園についても調査しており、お客さんは来るとは思いますが、キャンプ場は川とか水がある方がよく、この施設も水辺があるといいと思います。

#### 【参加者】

農業公園は、地域の高齢者が芝等の管理を行い、就労の機会や生きがいの場となっています。また小中学生等の学習の場にもなっています。いなべ市農業公園に関する条例にある農業公園の目的である高齢者の活躍の場の創出等は、引続き守られるのでしょうか。

先ほどの説明の中で現状の施設では指定管理料が発生し、赤字という話が出ていましたが、都市公園等を管理するのに赤字になるのは決まっています。そろばん勘定だけでなく、農業公園の理念を大切にする必要があります。そもそも地域の方と一緒に守ってきた梅については残されるのでしょうか。

#### 【いなべ市】

梅については、残す方向です。またその梅の管理には、引続き、高齢者の雇用等を確保しながら、運用していきます。

現状、2月下旬から3月にかけて、梅まつり等の梅林を多くの方が見に来られています。そういった現状の魅力を守りつつ、更なる利活用ができるよう整備を考えていますし、施設整備だけでなく、この施設の一番の魅力である梅を使った観光事業を更に展開できるようにソフト事業も並行して進めていきたいと思っています。

#### 【参加者】

この予算でいなべ市に価値を付けられる事業は他にないと思います。どなたかの話にありましたが、全国的に人口が減る中で、自治組織が維持できない。そうすると人口を流出させない、産む子供を増やす、移住をさせるのか、いい図書館が欲しい、いい福祉を受けたいのはどこの自治体、市民も一緒ですが、その場合、税金を上げる必要があります。税金を上げるためには企業誘致か観光しかないと思います。先ほどの説明でインバウンド、フランスをターゲットとするという話があったと思いますが、中々来ないと思います。ただそこにスノーピークという名前があれば可能性が出てくる。そのため、何でもありではないけど、今回は大きなチャンスだと思います。

先日、やまてらすに行きました。その時に初めて、梅林公園に行きましたが、このロケーションでこのスノーピークの事業は、需要があると思いました。

いなべランドステーションという言葉がよいと思います。ランドステーションは、形をいろんなものに合わせて変えていくということなので、すごく良いと思います。そのとおりのプロジェクトとして、進むことを期待しています。

【参加者】

先ほどの説明の中で、市民や事業者が関われるという話がありましたが、関われる資格はありますか。市内で製造しているものや事業者しかダメなのでしょうか。市外の人でもいいのでしょうか。

【一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ】

近郊で考えています。まったく無関係のものを引っ張ってくるのではなく、地域にあるものを活かしていなべと関わりながら、新しいものをつくるイメージです。

【参加者】

例えば、道の駅といった時に地元のものかなと商品の裏見ると全然違うところの生産したものだったということがあると思います。そういうものは取扱っていくのか。

【一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ】

そういうものは、想定しておらず、何らかの形でいなべと関わりのあるものというところが大事だと思っています。

【参加者】

宿泊施設は、どれくらいあるのか。

【株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング】

基本構想の段階では、グランピングについては、2人等の少人数のものとファミリー向けのもの合わせて15棟を想定しています。

【参加者】

同業者への競合することないようにしてほしいと思う。